公益財団法人　上廣倫理財団

公益財団法人　角川文化振興財団　助成事業

第26回

俳句甲子園

（全国高等学校俳句選手権大会）

実施報告書

主催：NPO法人俳句甲子園実行委員会　　共催：松山市、愛媛県

後援：文部科学省、（公社）全国高等学校文化連盟　ほか

【大会最優秀句・文部科学大臣賞】

月涼し伽藍に蟹の道のある



高校生にしか語れない俳句がある





＜俳句甲子園の目的＞

全国各地から俳句という文学を介して高校生たちが松山に集い、日本語を操る能力の向上、将来的な日本俳句文学の興隆のみならず、高校生相互の文化的交流、更には大会に関わる異世代との社会的交流を深め、豊かな人間性を育むことを目的としています。

＜開催趣旨＞

誰でもふと口ずさむことができ、フランス人に「生きる芸術」と呼ばれた俳句。Ｐ．ピカソが「広々とした自由」と呼んだ俳句。現在全国の俳句愛好者は５００万人を超え、いまや「俳句の時代」といわれるほど、この小さな詩形は、日本人の日々の暮らしに溶け込んでいます。とりわけ愛媛県では、近世から階層を問わずあらゆる分野の人々が俳諧に親しんできました。中世には神仏に捧げる法楽連歌が多く残されており、明治以降には俳句を近代の詩として再生させた正岡子規をはじめとして、高浜虚子、河東碧梧桐、中村草田男、石田波郷、芝不器男、富沢赤黄男など、さまざまな個性に彩られた俳人を輩出した伝統的風土があります。

俳句は、現代を生きる人々の心を＜五・七・五＞という十七音に凝縮されたわずかな言葉の空間に解き放ち、またひとつの作品が読者との間にさまざまな読み方の回路を開き、いろいろに読むことができるという自在な活力にも満ちています。各地から俳句に親しむ高校生が一堂に参集し、俳句を楽しみ、交流することは、本来「座」に集う人々の共同の文芸であった俳句に相応しく、そこから生まれる人間的な交流は、高校生にとって国語教育の一環としてのみならず、新鮮で貴重な社会的経験となり、豊かな人間性を育むであろうと考えます。

また、次代を担う若者たちの新鮮な発想と創造性、しなやかで軽やかな感受性は、この小さな詩の未知の魅力を我々の前に開いてくれることでしょう。

以上のように＜俳句甲子園＞は俳句を通じ地域間・世代間の交流と若者の文化活動の活性化に必ず寄与するものと考えます。

（1997年当時作成）

＜大会運営＞

大会の運営はＮＰＯ法人を中心としながら、大会を卒業したＯＢＯＧや市民で構成される１００名以上のボランティア、地元松山市の職員が連携しながら実施します。また文部科学省や、全国高等学校文化連盟などの後援もいただき、高校生の良き学びの場、新たな交流や成長の場となるよう配慮した運営をしています。

＜大会スケジュール＞

６月に地方大会、８月に全国大会を行います。参加可能な地方大会会場が近くに無い場合等は投句審査（句のみの書類選考）にてエントリーする事も可能です。

＜26回大会日程＞

２月７日…「大会募集要項」「開催要綱」発表
４月４日…地方大会兼題　発表
５月９日…エントリー締め切り
６月１０日～１８日…地方大会
（全国１２都市２０会場）
６月２２日…全国大会出場チーム　発表
８月１８日～２０日…全国大会

◆大会１日目
ウェルカムパーティー、組合せ抽選会、敗者復活戦席題発表・提出

◆大会２日目
開会式、予選リーグ、予選トーナメント

◆大会３日目
敗者復活戦、決勝リーグ、決勝、表彰式、フェアウェルパーティー

＜兼題＞

◆地方大会
「日永」「草餅」「ヒヤシンス」「山笑ふ」

◆全国大会
予選リーグ第１・２試合「朝焼」
予選リーグ第３・４試合「ハンモック」
予選リーグ第５・６試合「金亀子」
予選トーナメント「トマト」
敗者復活戦「後」
決勝リーグ第１試合「星月夜」
決勝リーグ第２試合「小鳥」
決勝リーグ第３試合「コスモス」
決勝戦「道」

＜審査員長＞

高野 ムツオ（小熊座主宰）／中原 道夫（銀化主宰）／星野 高士（玉藻主宰）／小澤 實（澤主宰）／夏井 いつき（いつき組組長）／髙田 正子（藍生）／岸本 尚毅（天為、秀）／如月 真菜（童子副主宰）／堀田 季何（楽園主宰）／阪西 敦子（ホトトギス、円虹）／村上 鞆彦（南風主宰）／西村 麒麟（麒麟主宰、古志）／神野 紗希（現代俳句協会副幹事長）

＜ウェルカムパーティー・組合せ抽選会＞

今年度は4大会ぶりにウェルカムパーティーを開催し、選手たちは親交を深めました。また、パーティーの中で組合せ抽選会を実施しました。抽選会後は敗者復活戦の席題「後」が発表され、選手たちはチームで協力し句を作成しました。戦いはもう始まっています。





＜エントリーチーム＞

３０都道府県１１０チームからのエントリーがあり、１９都道府県３２チームが全国大会へ出場しました(うち２チームが全国大会初出場)。(★は地方大会優勝による全国大会出場チーム、◎は投句審査による全国大会出場チーム)

都道府県名	チーム名	エントリー回数	参加区分・会場
北海道	旭川実業高等学校A	2	地方大会・札幌会場
	旭川実業高等学校B	2	地方大会・札幌会場
	北海道札幌北高等学校	初	地方大会・札幌会場
	北海道旭川東高等学校A ★	21	地方大会・札幌会場
	北海道旭川東高等学校B	21	地方大会・札幌会場
青森県	青森県立弘前高等学校	9	地方大会・北上会場
	青森県立八戸高等学校	4	投句
岩手県	岩手県立水沢高等学校 ★	19	地方大会・北上会場
	岩手県立花巻北高等学校A	3	地方大会・北上会場
	岩手県立花巻北高等学校B	3	地方大会・北上会場
	岩手県立盛岡第一高等学校	12	地方大会・北上会場
宮城県	宮城県小牛田農林高等学校 ★	14	地方大会・仙台会場
	宮城県宮城第一高等学校	4	地方大会・仙台会場
	仙台白百合学園高等学校	14	投句
	宮城県白石高等学校	初	投句
	仙台大学附属明成高等学校	初	投句
秋田県	秋田県立秋田北高等学校A	5	地方大会・仙台会場
	秋田県立秋田北高等学校B	5	地方大会・仙台会場
山形県	山形県立山形東高等学校 ★	2	地方大会・仙台会場
	山形県立山形南高等学校A	7	地方大会・仙台会場
	山形県立山形南高等学校B	7	地方大会・仙台会場
	山形県立山形南高等学校C	7	投句
福島県	福島県立磐城高等学校A ◎	10	地方大会・仙台会場
	福島県立磐城高等学校B	10	地方大会・仙台会場
	福島県立磐城高等学校C ◎	10	投句
	福島県立安積黎明高等学校A	3	投句
	福島県立安積黎明高等学校B	3	投句
	福島県立安積黎明高等学校C	3	投句
	福島県立安積黎明高等学校D	3	投句
	福島県立安積黎明高等学校E	3	投句
茨城県	茨城県立結城第二高等学校	12	地方大会・高崎会場
	茨城県立下館第一高等学校A ★	14	地方大会・高崎会場
	茨城県立下館第一高等学校B	14	地方大会・高崎会場
栃木県	栃木県立宇都宮高等学校	3	地方大会・高崎会場
群馬県	群馬県立高崎高等学校 ★	6	地方大会・高崎会場
	高崎商科大学附属高等学校	8	地方大会・高崎会場
	群馬県立高崎女子高等学校	初	投句
埼玉県	星野高等学校	7	地方大会・高崎会場
東京都	開成高等学校 ★	23	地方大会・東京会場
	海城高等学校A ◎	10	地方大会・東京会場
	海城高等学校B ◎	10	地方大会・東京会場
	海城高等学校C	10	投句
	明治大学付属中野高等学校	2	地方大会・東京会場
	立教池袋高等学校A ★	13	地方大会・東京会場
	立教池袋高等学校B ◎	13	地方大会・東京会場
神奈川県	慶應義塾湘南藤沢高等部A	11	地方大会・横浜会場
	慶應義塾湘南藤沢高等部B	11	地方大会・横浜会場
	神奈川県立横浜翠嵐高等学校 ★	7	地方大会・横浜会場
	洗足学園中学高等学校A ◎	初	地方大会・東京会場
	洗足学園中学高等学校B	初	地方大会・東京会場
	洗足学園中学高等学校C	初	投句
	洗足学園中学高等学校D	初	投句
	横浜高等学校	初	地方大会・横浜会場
	横浜サイエンスフロンティア高等学校	10	地方大会・横浜会場

石川県	石川県立金沢泉丘高等学校 ◎	12	投句
	石川県立金沢錦丘高等学校	9	投句
長野県	長野県屋代高等学校	10	地方大会･高崎会場
岐阜県	大垣日本大学高等学校	4	地方大会･大垣会場
	鶯谷高等学校	4	地方大会･大垣会場
	岐阜県立飛騨神岡高等学校	18	地方大会･大垣会場
愛知県	愛知県立岡崎北高等学校	初	地方大会･刈谷会場
	愛知県立幸田高等学校 ◎	22	地方大会･刈谷会場
	名古屋高等学校A ◎	12	地方大会･刈谷会場
	名古屋高等学校B ★	12	地方大会･刈谷会場
	桜花学園高等学校A ★	2	地方大会･刈谷会場
	桜花学園高等学校B	2	地方大会･刈谷会場
	愛知県立豊橋西高等学校	7	地方大会･刈谷会場
	愛知県立岡崎東高等学校 ◎	7	地方大会･刈谷会場
三重県	高田高等学校	21	地方大会･大垣会場
滋賀県	滋賀県立彦根東高等学校	6	地方大会･大垣会場
	立命館守山高等学校	2	投句
京都府	洛南高等学校A ◎	21	地方大会･大阪会場
	洛南高等学校B ◎	21	地方大会･大阪会場
大阪府	大阪桐蔭高等学校	8	地方大会･大阪会場
兵庫県	灘高等学校A ★	9	地方大会･大垣会場
	灘高等学校B ★	9	地方大会･大垣会場
	兵庫県立武庫荘総合高等学校A	2	地方大会･大阪会場
	兵庫県立武庫荘総合高等学校B	2	地方大会･大阪会場
	兵庫県立宝塚西高等学校	初	地方大会･大阪会場
和歌山県	和歌山県立橋本高等学校	2	地方大会･和歌山会場
	和歌山県立桐蔭高等学校 ★	8	地方大会･和歌山会場
	智辯学園和歌山高等学校	5	地方大会･和歌山会場
	和歌山県立海南高等学校A	5	地方大会･和歌山会場
	和歌山県立海南高等学校B	5	地方大会･和歌山会場
島根県	島根県立三刀屋高等学校	7	投句
岡山県	岡山県立岡山朝日高等学校 ★	13	地方大会･大阪会場
山口県	山口県立徳山高等学校A ★	10	地方大会･防府会場
	山口県立徳山高等学校B	10	地方大会･防府会場
	山口県立萩高等学校A	6	地方大会･防府会場
	山口県立萩高等学校B	6	地方大会･防府会場
	山口県立下松工業高等学校A	初	地方大会･防府会場
	山口県立下松工業高等学校B	初	地方大会･防府会場
愛媛県	愛媛県立新居浜西高等学校A	12	地方大会･松山会場
	愛媛県立新居浜西高等学校B	12	地方大会･松山会場
	愛媛県立松山西中等教育学校	15	地方大会･松山会場
	愛光高等学校 ★	18	地方大会･松山会場
	愛媛県立今治西高等学校	18	地方大会･松山会場
	愛媛県立今治西高等学校 伯方分校	24	地方大会･松山会場
	愛媛県立松山東高等学校A ★	25	地方大会･松山会場
	愛媛県立松山東高等学校B	25	地方大会･松山会場
	済美平成中等教育学校A	19	地方大会･松山会場
	済美平成中等教育学校B	19	地方大会･松山会場
	愛媛大学附属高等学校	4	地方大会･松山会場
	愛媛県立三崎高等学校	2	投句
福岡県	福岡県立八女高等学校 ★	4	地方大会･防府会場
熊本県	熊本信愛女学院高等学校A	23	投句
	熊本信愛女学院高等学校B	23	投句
	熊本信愛女学院高等学校C	23	投句
沖縄県	興南高等学校A ★	8	地方大会･大阪会場
	興南高等学校B	8	地方大会･大阪会場

全国大会



北海道旭川東高等学校
（北海道）



岩手県立水沢高等学校
（岩手県）



宮城県小牛田農林
高等学校（宮城県）



山形県立山形東高等学校
（山形県）



開成高等学校
（東京都）



立教池袋高等学校A
（東京都）



立教池袋高等学校B
（東京都）



海城高等学校A
（東京都）



桜花学園高等学校
（愛知県）



名古屋高等学校A
（愛知県）



名古屋高等学校B
（愛知県）



愛知県立幸田高等学校
（愛知県）



灘高等学校B
（兵庫県）



和歌山県立桐蔭高等学校
（和歌山県）

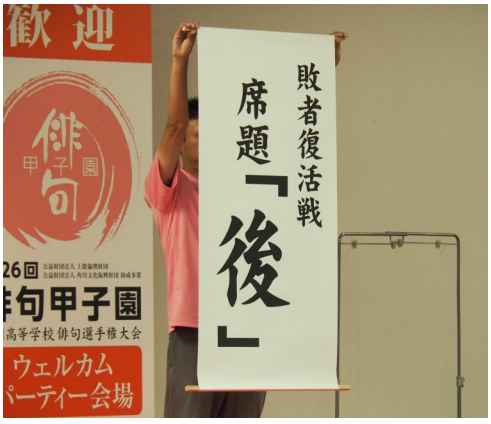


岡山県立岡山朝日高等学校
（岡山県）



山口県立徳山高等学校
（山口県）





出場チーム一覧



福島県立磐城高等学校A
（福島県）



福島県立磐城高等学校B
（福島県）



茨城県立下館第一
高等学校（茨城県）



群馬県立高崎高等学校
（群馬県）



海城高等学校B
（東京都）



神奈川県立横浜翠嵐高等学校
（神奈川県）



洗足学園中学高等学校
（神奈川県）



石川県立金沢泉丘高等学校
（石川県）



愛知県立岡崎東高等学校
（愛知県）



洛南高等学校A
（京都府）



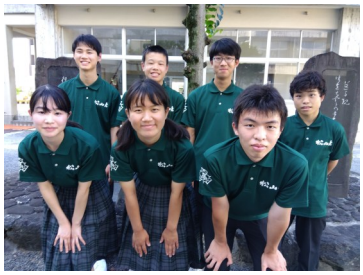
洛南高等学校B
（京都府）



灘高等学校A
（兵庫県）



愛光高等学校
（愛媛県）



愛媛県立松山東高等学校
（愛媛県）



福岡県立八女高等学校
（福岡県）



興南高等学校
（沖縄県）

OBOG会

俳句甲子園経験者の有志によりＯＢＯＧ会が結成され、俳句甲子園を支えてくれています。地方大会や全国大会は、大勢のＯＢＯＧのボランティアスタッフが運営に携わり、この報告書にも彼らが撮影した写真が多く使われています。

毎年多くのＯＢＯＧが「俳句甲子園をもっと盛り上げていこう」、「俳句甲子園に恩返しを」など、様々な想いで応援してくれています。



予選リーグ、予選トーナメント













＜予選リーグ、予選トーナメント＞

約４８０ｍの大街道商店街アーケードに８の特設ブロック会場が設けられます。参加３２チームが１ブロック４チームに分かれ、決勝リーグ進出をかけ火花を散らせます。

相手の俳句のポイントを的確に見抜き、鑑賞し、質問する言葉の応酬。言葉と言葉の真剣勝負に道行く人は思わず魅了され、立ち止まります。審査員の旗が上がり勝敗が決まるたびに、会場では拍手や歓声があがります。

＜評価の基準＞

◆作品点（１０点満点）

各審査員が、提出句ごとに１０点満点で俳句の創作力を総合的に評価します。









◆鑑賞点（２点以内）

　各審査員が、対戦ごとに質疑応答を審査して、各チームの総合鑑賞力を評価し、鑑賞力の上まわるチームにのみ２点以内の点数を付与します。

◆合計ポイントが同じ場合

　原則として、作品点の高いチームの勝利となります。但し、同点でかつ、減点がある場合は、減点のない又は減点数の少ないチームの勝利となります。

＜競技の際の注意点＞

◆相互の鑑賞力を促進する為、対象句側のチームによる句の自発的な解説は認めません。

◆お互いに俳句という文学的フィールドの中で、協議対象句に対する個々の見識・感受性・創造力を競い合うことを目的とする対戦であり、決して作品・個人に対する中傷誹謗の場ではありません。

敗者復活戦・決勝リーグ













＜敗者復活戦＞

組合せ抽選会終了後に発表された席題で、定められた時間内に、チームで１句創作し、事前に審査員長１３名が作品点上位５チームを選出します。ここに、１日目の予選トーナメントで敗れた４チームが加わり、計９チームが敗者復活戦に臨みます。敗者復活戦は各チーム代表者２名が登壇、句を披露、審査員長との質疑応答（１分）を行います。作品点と鑑賞点の合計で上位２チームを選出します。

今大会の席題は「後」で、「大西日後部座席に祖母眠り」の山形県立山形東高等学校が１位、「前後左右未来過去から蝉鳴けり」の北海道旭川東高等学校が２位となり、決勝リーグへと駒を進めました。

決勝戦・表彰式







＜決勝リーグ・決勝＞

松山市総合コミュニティセンターでは、大型モニターによるパブリックビューイングが行われ、試合会場の外まで俳句甲子園の熱気に包まれます。

予選トーナメントを勝ち進んだ、開成高等学校、立教池袋高等学校A、神奈川県立横浜翠嵐高等学校、名古屋高等学校Aと、敗者復活戦を勝ち抜いた北海道旭川東高等学校、山形県立山形東高等学校の６チームがぶつかります。決勝リーグは「星月夜」「小鳥」「コスモス」を兼題として、Ａブロック、Ｂブロックに分かれて、３校ずつが熱戦を繰り広げました。それぞれのブロックで勝ち抜いた開成高等学校と北海道旭川東高等学校が決勝戦に進みます。

「道」を兼題に戦った決勝は、開成高等学校が３－１で北海道旭川東高等学校を下し、大会４連覇を成し遂げました。

＜大会結果＞

優勝：開成高等学校（東京都）

準優勝：北海道旭川東高等学校（北海道）

3位（決勝リーグ進出チーム）

立教池袋高等学校A（東京都）

神奈川県立横浜翠嵐高等学校（神奈川県）

山形県立山形東高等学校（山形県）

名古屋高等学校A（愛知県）

＜フェアウェルパーティー＞

今年は4大会ぶりに立食形式でのフェアウェルパーティーを実施しました。決勝リーグの会場でもあった松山市総合コミュニティセンターの大会議室で開催。熱戦を終えた選手たちを、ＯＢＯＧが趣向を凝らした演出でもてなします。優勝を争うライバルだった他校の選手たちが、すっかり戦友になっています。

また、ＯＢＯＧたちとも交流を深め、これからの俳句活動についても考えを深める光景も見られました。

＜審査員長評（抜粋）＞

小澤　實　先生

皆さんお疲れ様でした。コロナが明けてフルコースで大会に参加でき嬉しく思います。

連続して優勝した開成高校の皆さんの句は素晴らしかったです。連続して勝ち続けることがどれほど大変か、横綱のような存在感を示してくれました。また、全参加校の作品の質が上がっていると感じました。ディベートも良かったです。鑑賞は作句以上に大事だと感じていますが、相手の作品を相手の読みより深いところまで届けていた場面にいくつも出会えました。

俳句の世界において、俳句の未来を感じさせるイベントはそれほどありませんが、この俳句甲子園は、確かな未来を感じさせてくれるイベントだと思います。皆さんの輝く顔を見ていると明るい未来があるんじゃないかと感じる嬉しさがありました。

素晴らしい大会をありがとうございました。

【個人最優秀賞・文部科学大臣賞】



月涼し伽藍に蟹の道のある

名古屋高等学校Ａ　小田健太

＜審査員長講評（抜粋）＞

夏井　いつき　先生

蟹という生き物が命をつなぐためにささやかな営みをするほのかな蟹の道、人の死を司る伽藍、地上の森羅万象を月は涼やかに見つめている。

そういう句ではないかという世界に審査員の全員が触れた瞬間、今年の１句にしようと意見がまとまりました。



＜個人賞＞

最優秀賞（文部科学大臣賞）

月涼し伽藍に蟹の道のある　　名古屋高等学校Ａ　小田健太

〈優秀賞〉

生家てふ市営アパート星月夜　　愛媛県立松山東高等学校　田邊広大

道徳の授業を蠅の飛びまはる　　立教池袋高等学校Ａ　小幡曜

ハンモック寝れば尾骨はたしかに尾　　立教池袋高等学校Ｂ　大竹七生

トマト熟る真昼は土の照り返し　　興南高等学校　知名凛音

大道具のほかは帰つて夜の秋　　名古屋高等学校Ｂ　福田匠翔

星月夜われらのための岬欲し　　開成高等学校　鈴木丈太朗

ソクラテス無職と知りてハンモック　　洗足学園中学高等学校　福田理紗

葬送の道のおほきな糸瓜かな　　洛南高等学校Ａ　田村典

入道雲ロックンロール聞き飽きて　　和歌山県立桐蔭高等学校　鎌田琉夏

背泳ぎの鳥の道へと手をのばす　　山形県立山形東高等学校　木村幸人

ぶんぶんを船より投ぐや帰つてくる　　立教池袋高等学校Ｂ　栗本拓実

ハンモック姉の馴れ初めに大揺れ　　福島県立磐城高等学校Ｂ　吉村優菜

朝焼をがぶ飲みのかのししがゐる　　開成高等学校　渡部一

〈入選〉

星月夜仕留めて剥いで削いで食う　　北海道旭川東高等学校　吉原千世

塹壕へ朝焼落ちてくる無音　　北海道旭川東高等学校　濱田春樹

金亀子壁画に足を踏み入れて　　山形県立山形東高等学校　須藤臣人

不登校やめられそうなほど朝焼　　茨城県立下館第一高等学校　武井佳奈

コロッケのソース掛かりしプチトマト　　群馬県立高崎高等学校　金澤英明

革命の広場より来し小鳥かな　　開成高等学校　工藤直樹

塵取を出るかなぶんを戻しけり　　立教池袋高等学校Ａ　辻村幸多

小鳥来る帽の小銭に札埋もれ　　海城高等学校Ａ　遠藤泰介

朝焼に引き波の貝止まりけり　　海城高等学校Ｂ　深井直輝

朝焼や父母も通ひし無人駅　　石川県立金沢泉丘高等学校　米口らく

ジーンズに我のぬくみや星月夜　　桜花学園高等学校　長谷川文音

ハンモック張りたる紐の固さかな　　名古屋高等学校Ｂ　堀内晴斗

朝焼や君と別れて十二時間　　愛知県立岡崎東高等学校　入江真凛

花街の灯に旋回の金亀子　　和歌山県立桐蔭高等学校　坂下結芽

後頭部に芝の感触星月夜　　和歌山県立桐蔭高等学校　寺田侑史

坑道の残響を踏む夏の果　　岡山県立岡山朝日高等学校　高旗ゆりあ

朝焼けて한글だけの街にいる　　山口県立徳山高等学校　澁谷夏輝

コスモスや我の三歩は皆の二歩　　愛光高等学校　星川優希

星月夜Ａ－が謝ってきた　　愛媛県立松山東高等学校　谷口春菜

朝焼や四国しづかに隆起して　　愛媛県立松山東高等学校　篠原孝太



俳句を愛する仲間と共に…

第27回大会へ

＜お問い合わせ先＞

NPO法人 俳句甲子園実行委員会 事務局
〒790-0814　愛媛県松山市柳井町２丁目２１－３
TEL：089-943-1512（平日13：00～17：00）
E-mail　info@haikukoushien.com

又は　松山市坂の上の雲まちづくり部　文化・ことば課
〒790-8571　愛媛県松山市二番町四丁目７－２
TEL 089-948-6952　FAX 089-934-1913
E-mail bunkakotoba@city.matsuyama.ehime.jp